

close up topics

エリアの話題をクローズアップ!



J A A M D A 食料 保管施設開設

地域貢献の一環で災害時に役立てる

当組合は、地域貢献活動の観点から組合所有の土地建物を特定非営利活動法人AMD Aへ無償で貸し出し、大規模災害に備えた物資の保管施設「緊急時物資支援センター みつSTATION」として活用します。

10月14日には、同施設の開所式が行われ、同法人と当組合の役員らが出席しました。同法人の菅波茂理事長が「JAと協力してこのようなセンターが開所できたことを大変感謝している。この施設は3つの役割をもっており、JAが持っているネットワークを活用できること、地元の学校への防災教育の拠点となること、賞味期限が近いものを子ども食堂に提供することです」とあいさつしました。センターは物資の運搬を行う岡山空港近くの岡山市北区御津宇



菅波理事長(左)と支援物資について話をする宮武会長

垣にある鉄骨平屋造り(約225平方メートル)。現在は、被災地へ派遣される医師や看護師ら10人分の防災食を保管しています。

宮武博経営管理委員会会長は「今回の取り組みは地域貢献活動の一環として協力させていただきました。南海トラフや災害時の物資の保管施設として活用していただき、地域だけでなく国内外での緊急時に役立ててもらいたい」と話しました。